

令和6年度介護保険者介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)評価指標に係る該当状況調査票

〔記載要領〕

- ※1 緑色の欄を記入して下さい。(保険者機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金交付金で調査票シートが分かれているので、両方のシートを記入して下さい。)
- ※2 「回答欄」については、各評価指標の留意点等を踏まえ、該当する場合は○、該当しない場合は×を、プルダウンから選択して下さい。
- ※3 「記載欄」については、「記載項目・提出資料」欄に記載する内容を踏まえ、各指標に該当する法判断に至った根拠を記載して下さい。記載欄が不足する場合は、「資料O」とおなじみとして、適宜、別添の提出資料に記載して下さい。
- ※4 「提出資料」欄については、各評価項目と提出資料との関連が明らかとなるよう、適宜付書の上、「資料O参照」等と記載して下さい。
- ※5 青色の欄は自動計算されるため、記入しないで下さい。
- ※6 灰色の欄は計算項目の指標は、厚生労働省算定項目であり、回答は不要です。

(都道府県名) 山口県
 (市町村名) 周南市
 (担当課・係・氏名)
 (メールアドレス)
 (電話番号)

目標1 介護予防/日常生活支援を推進する(配点100点)
 (1) 体制・取組指標群(配点52点)

評価項目	評価	得点	2023年度実施 (予定を含む) の状況評価	記載事項・提出資料	記載欄	提出資料	記録欄	評価
1	介護予防・生活支援サービス一応 介護予防事業の実施に当たって、デー タを活用して課題の把握を行っている か。	○	○	○	○	○	○	○
	※1に該当する場合はア又はイのい ずれかに、エに該当する場合はウに該当 していることが望ましい	○	○	○	○	○	○	○
	ア 介護予防のケアプランや要介護認定の申請書等を参照している	○	○	○	○	○	○	○
	イ KDBや見える化システム等に保存したデータやシステムを活用している	○	○	○	○	○	○	○
	ウ 毎年度、ア又はイのデータを活用して課題の分析を行っている	○	○	○	○	○	○	○
エ データに基づき課題分析等の結果を施策の改善・見直し等に活用している	○	○	○	○	○	○	○	○
2	通いの場やボランティア活動などの 介護予防に資する取組の推進を図る ため、アウトリーチ等の取組を実施し ているか。	○	○	○	○	○	○	○
	※ア-イ-ウ-エの順で該当している ことが望ましい	○	○	○	○	○	○	○
	ア 通いの場への参加促進を図るための課題を把握・分析している	○	○	○	○	○	○	○
	イ 通いの場に参加していない者の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利 用状況等を定期的に把握し、データとして整理している	○	○	○	○	○	○	○
	ウ 通いの場を含む介護予防に資する取 組に対して、次のような具体的なア プローチを行っている	○	○	○	○	○	○	○
エ ウの取組の結果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている	○	○	○	○	○	○	○	○

<p>介護予防と保健事業を一体的に実施しているか。</p> <p>※イに該当する場合はアに、エに該当する場合はアからマまでのいずれかに該当していることが望ましい</p>	<p>ア 通いの場における健康チェックや外出支援、口腔ケア等を実施している</p> <p>イ 通いの場での健康チェック等の実施を踏まえて医療機関等による早期介入（個別支援）につなげる仕組みを構築している</p> <p>ウ 現世代の生活習慣改善と、介護予防とが連携した取組を実施している</p> <p>エ 一体的な取組の成果を分析し、取組の改善・見直しを行っている</p>	<p>2023年度実施 (予定を含む) の状況と評価</p>	<p>1点 0点 2点 3点</p>	<p>○ ア、イ、ウについては、取組内容や仕組みの概要を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。</p> <p>イ：地域包括ケアセンター、保健所、看護所、歯科衛生士が結束を踏まえ、個別支援につなげている。 ウ：3団体の協議により課題を共有、フレイル予防の観点で、現世代の健康改善の対象者や内容に反映している。</p>
<p>通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、介護予防・生活支援サービスと一体的な取組の内容等の検討を行っているか。</p> <p>※ア～イ～エの順で該当していることが望ましい</p>	<p>ア 通いの場の参加者の健康状態を継続的・定量的に把握する体制が整っている</p> <p>イ 毎年度、経年的な評価や分析等を行っている</p> <p>ウ 行政以外の外部の関係者の意見を取り入れている</p> <p>エ 分析結果等をサービス内容の改善等に活用している</p>	<p>2023年度実施 (予定を含む) の状況と評価</p>	<p>1点 2点 3点 4点</p>	<p>○ アについては、体制の概要を記載。 ○ イについては、取組内容（手法や規模、整理しているデータ内容等）を記載。 ○ ウについては、外部関係者の名称を記載。 ○ エについては、活用状況を記載。</p> <p>ア：通いの場の参加者、フレイルチェック、体力測定（握力、関節可動域、TUG、CS-3テスト等）を実施し効果分析を行っている。 ウ：介護予防・自立支援リハビリエーションセンター、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士 エ：分析結果を主任や地域関係者、サービス事業所に伝えるなどしており、通いの場の関係者立ち上げや、サービス終了後の社会参加支援に活用している。</p>
<p>地域におけるリハビリテーションの推進に向けた具体的な取組を行っているか。</p> <p>※ウに該当する場合はイに該当していることが望ましい</p>	<p>ア 国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標を現状把握や推進の検討に活用し、リハビリテーションに関する目標を市町村介護保険事業計画に設定している</p> <p>イ 都市区民会等の関係団体と連携して協議の場を設置し、介護予防の場や介護事業所にリハビリテーション専門職が関与する仕組みを設けている</p> <p>ウ リハビリテーション専門職を含む医療専門職を介護予防の場や地域ケア会議等に定量的に派遣するための具体的な内容や取組等を実施している</p> <p>エ 取組内容の成果を分析し、改善・見直しを行っている</p>	<p>2023年度実施 (予定を含む) の状況と評価</p>	<p>× 0点 2点 3点 4点</p>	<p>○ アについては、国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標の活用方法を記載するとともに、介護保険事業計画における該当部分を添付。 ○ イについては、仕組みの概要を記載。 ○ ウについては、協議の場の活用状況を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。</p> <p>イ：国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標の活用方法を添付。 ○ イについては、国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標の活用方法を添付。 ○ ウについては、協議の場の活用状況を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。</p> <p>ウ：コロナ禍で介護予防の場への派遣の難しい現状や確保があったが、イの場や機会を活用して、再び派遣が行われるようになった。 エ：様々な場においてリハビリが関与することにより、 ・地域包括ケアセンターやケアマネジエーターの「介護予防ケアマネジメント」の理解が深まった ・通所型サービスCの目的や方向性について関係者で定期的な連絡ができ、利用者が増えてい ・地域包括ケアセンター職員が、サービス日以外の暮らし方に目を向け、助言ができるようになってきた</p>

<p>生活支援コーディネーターの活動等により、地域のニーズを踏まえた介護予防・生活支援の体制が確立されているか。</p> <p>※ア～イ・ウ～エの順で該当していることが望ましい</p>	<p>ア 地域における介護予防・生活支援サービスの提供状況、地域資源、利用者数、地域・心身及び生活状況の傾向、高齢者の地域の抱える課題を把握し、データとして整理している</p> <p>イ アで整理したデータを、地域住民や関係団体等に提供・説明している</p> <p>ウ アで整理したデータを踏まえ、生活支援コーディネーターとともに、協議体を活用しながら、地域の課題を分析・評価している</p> <p>エ フの分析・評価を踏まえ、市町村として、介護予防・生活支援サービスの推進方策を策定し、関係者に周知している</p> <p>オ エで策定した市町村としての推進方策を定期的に更新し、関係者に周知する仕組みがある</p>	<p>2023年度実施 (予定を含む) の状況を評価</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>1点</p> <p>2点</p> <p>3点</p> <p>4点</p> <p>5点</p>	<p>アについては、整理しているデータ内容を記載。</p> <p>イについては、説明した相手方、説明の内容、説明日時を記載。</p> <p>ウについては、地域課題の分析・評価結果の概要を記載。</p> <p>エについては、推進方策の概要を記載。</p> <p>オについては、改善・取組し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。</p>	<p>ア：総合事業サービス団体や地域の有償ボランティア、通いの場やサロンの数、利用者数、活動内容、活動日、料金、代表者の選任、地域の抱える課題の現状、対象者の状態等</p> <p>ウ：関係におけるサービスの在り方の検討が必要</p> <p>思慮所への対応に関する検討が必要。(特に中山間や過疎の多い地域を優先的に)</p> <p>エ：進捗におけるより利用者ニーズに合った柔軟なサービス支援 (県庁方面で行中、今後関係者に周知予定)</p> <p>オ：地域包括支援センター運営協議会、第1層協議会など</p>	<p>資料(0)6イ</p>	
<p>多様なサービスの活用推進に向け、実施状況の調査・分析・評価を行っているか。</p> <p>※ア～イ・ウ～エの順で該当していることが望ましい</p>	<p>ア 介護予防、日常生活支援総合事業のサービスの実施状況、地域資源、利用者数、地域・心身及び生活状況の傾向のほか、現状では対応が困難な地域の取り組みを把握し、データとして整理している</p> <p>イ アで整理したデータを踏まえ、多様なサービスの推進に向け、地域の課題を分析・評価している</p> <p>ウ イの分析・評価を踏まえ、多様なサービスの推進に向け、市町村としての推進方策を策定し、関係者に周知している</p> <p>エ ア～ウの分析・評価を踏まえ、市町村としての推進方策を定期的に更新し、関係者に周知する仕組みがある</p>	<p>2023年度実施 (予定を含む) の状況を評価</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>1点</p> <p>2点</p> <p>3点</p> <p>4点</p> <p>5点</p>	<p>アについては、整理しているデータ内容を記載。</p> <p>イについては、地域課題の分析・評価結果の概要を記載。</p> <p>ウについては、推進方策の概要を記載。</p> <p>エについては、改善・取組し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。</p>	<p>ア：通所介護サービスCの事業部ごと利用者数、包括利用者数、利用者ごとの要介護レベル、評価報告書、終了1年後のサービス利用状況、サービスC参加者社会参加(地域の盛りこみ等)</p> <p>イ：サービスC終了後に心身機能が向上しても、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に還元する機会活動がない、 ・移動支援が求められるが手立てがない ・外出や活動をサポートしてくれる人がいない <p>などの要因で、フォーマルサービスに繋がりを得ない人が多い。</p> <p>ウ：通いの場等への移動支援(特に過疎の多い地域、中山間地域)</p> <p>エ：地域包括支援センター運営協議会、地域包括ケア推進協議会、1層協議会など</p>		

(H) 活動推進群 (平成46年度)

1	高齢者人口当たりの地域包括支援センターに配置される3職種の人数	2022年度実績を評価				
		ア 上位7割	イ 上位5割	ウ 上位3割	エ 上位1割	
2	地域包括支援センター事業評価の達成状況	2022年度実績を評価				
3	地域ケア会議における個別事例の検討回数(個別事例の検討件数/受検者数)	2022年度実績を評価				
		ア 上位7割	イ 上位5割	ウ 上位3割	エ 上位1割	51
4	通いの場への65歳以上高齢者の参加率	2022年度実績を評価				
5	高齢者のオンライン事業への参加率	2022年度実績を評価				
		ア 上位7割	イ 上位5割	ウ 上位3割	エ 上位1割	0 45974 0%
6	通いの場等において心身・認知機能を維持・改善した者の割合	2022年度実績を評価				
		64.6%				

7	高齢者人口当たりの生活支援コーディネーター数	ア 上位7割	2022年度実績を 評価	〇 右欄に2023年3月31日現在（当該日における記載人数の把握が困難な場合は、当該市町村において定める2022年度中の任意の日で可。）で第1層、第2層に準じて配置されている生活支援コーディネーター数（実人数）を記載。	生活支援コーディネーター数（実人数）を記載。※単位の記載は不要	35	
		イ 上位5割					
8	生活支援コーディネーターの地域7ア5層への参加割合	ア 上位7割	2022年度実績を 評価	〇 ア及びイについては、既存統計では把握できない、生活支援団体等連携事業を活用して実施しているインフォーマルサービス（住民主体の交差点い活動を含む。）に係る実施事業所・団体数又は実利用者数を把握している場合には、これを右欄に記載。（把握していない場合は記載不要。） 〇 これに該当する場合、各事業所・団体が実施しているインフォーマルサービスの概要がわかる資料を添付すること。なお、右欄に記載した数値は、既存統計に加え、これも別添して評価を行う。 〇 エについては、人口1万人未満の小規模自治体のみが対象。 〇 これに該当すると考ええる場合、取組内容を記載するとともに、関連資料を添付すること。	※事業所・団体数を記載。※単位の記載は不要。把握していない場合は記載不要。	8	
		イ 上位5割					
9	総合事業における多様なサービスの 実施状況	ア 第一号訪問事業及び第一号通所事業 の実施事業所・団体数に占める多様なサービス実施事業所・団体数の割合	2022年度実績を 評価	〇 ア及びイについては、既存統計では把握できない、生活支援団体等連携事業を活用して実施しているインフォーマルサービス（住民主体の交差点い活動を含む。）に係る実施事業所・団体数又は実利用者数を把握している場合には、これを右欄に記載。（把握していない場合は記載不要。） 〇 これに該当する場合、各事業所・団体が実施しているインフォーマルサービスの概要がわかる資料を添付すること。なお、右欄に記載した数値は、既存統計に加え、これも別添して評価を行う。 〇 エについては、人口1万人未満の小規模自治体のみが対象。 〇 これに該当すると考ええる場合、取組内容を記載するとともに、関連資料を添付すること。	※事業所・団体数を記載。※単位の記載は不要。把握していない場合は記載不要。	8	要確認
		イ 第一号訪問事業及び第一号通所事業 の実利用者数に占める多様なサービスに係る実利用者数の割合					
		ウ 第一号訪問事業及び第一号通所事業 の実施事業所に占める多様なサービスに係る事業所の割合	2022年度実績を 評価	〇 ア及びイについては、既存統計では把握できない、生活支援団体等連携事業を活用して実施しているインフォーマルサービス（住民主体の交差点い活動を含む。）に係る実施事業所・団体数又は実利用者数を把握している場合には、これを右欄に記載。（把握していない場合は記載不要。） 〇 これに該当する場合、各事業所・団体が実施しているインフォーマルサービスの概要がわかる資料を添付すること。なお、右欄に記載した数値は、既存統計に加え、これも別添して評価を行う。 〇 エについては、人口1万人未満の小規模自治体のみが対象。 〇 これに該当すると考ええる場合、取組内容を記載するとともに、関連資料を添付すること。	※事業所・団体数を記載。※単位の記載は不要。把握していない場合は記載不要。		
		エ 人口1万人未満の市町村であって、生活支援団体等連携事業を活用し、インフォーマルサービス（住民主体の交差点い活動を含む。）を実施している場合					

目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する(配点100点)

(1) 体制・取組指針群(配点64点)

内容	取組	評価	得点	記録事項・提出資料	記録簿	提出資料	アカウンタブル
1	認知症初期発見支援チームが定期的に情報共有の機会を確保し、必要な活動が行われているか。 ※エは該当する場合はアからワまでのいずれかに該当していることが望ましい イ 医師・介護サービスにながっていない認知症と思われる高齢者に対し、チームが関係機関と連携して、支援対象者に対する主な支援体制を早期に提供することができるよう、公団体など具体的な連携体制の構築が図られている。 ウ 対象者の状況に応じて、他機関連携等により、支援対象者が抱える複合的問題に対して、具体的な対応について、退会の変更などの比較検討も行いつつ、事業運営の改善・見直し等の検討を行っている。	2023年度実績(予定を含む)の状況と評価	5点	ア アについては、取組内容(情報共有)の概要を記載。 イ については、情報共有の場や機会等の概要を記載。 ウ については、他機関連携による支援体制の概要を記載。 エ については、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。 ウ アについては、取組内容の概要を記載。 イ については、連携した取組の概要を記載。 ウ については、連携チームによる取組内容の概要を記載。 エ については、医師・介護専門職による早期対応や早期診断の取組の概要を記載。	記録簿、提出資料等チェック	ア: 各地域別支援センターが分業支援専門員に対して分業業務の周知を行い(不定期)、対象者担当の時はチームに集結。 イ: 認知症初期発見チームの設置及び活動状況や、地域の関係機関や関係団体との連携の状況、検討を行うため、認知症初期発見チーム検討委員会を平成28年10月開催。 ウ: チーム会議では対応メンバーの他、必要時、対象者とその家族への支援者の参加も求め、即支援に活かすための検討を行っている。 エ: チーム会議後認知症初期発見支援センターに対して要請書等に周知して始まる。年一回初年度支援チーム検討委員会を開催、重点的の進捗と情報交換、検討の場としている。	
2	認知症状態のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断、早期対応に繋げるための体制を構築しているか。 ※エは該当する場合はアからワまでのいずれかに該当していることが望ましい イ 認知症に対してできるかかりつけ医や認知症サポート医、認知症医療センター等の認知症に関する医療機関や認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 ウ 認知症に対してできるかかりつけ医や認知症サポート医、認知症医療センター等の医療機関と連携した取組を行っている。 エ アからワまでを踏まえ、医師・介護専門職による早期対応や早期診断に繋げる体制づくりを構築した上で、実際に運用を図っている。	2023年度実績(予定を含む)の状況と評価	4点	ア アについては、取組内容の概要を記載。 イ については、連携した取組の概要を記載。 ウ については、連携チームによる取組内容の概要を記載。 エ については、医師・介護専門職による早期対応や早期診断の取組の概要を記載。	ア: 認知症初期発見チームが分業支援専門員に対して分業業務の周知を行い(不定期)、対象者担当の時はチームに集結。 イ: 認知症初期発見チームの設置及び活動状況や、地域の関係機関や関係団体との連携の状況、検討を行うため、認知症初期発見チーム検討委員会を平成28年10月開催。 ウ: チーム会議では対応メンバーの他、必要時、対象者とその家族への支援者の参加も求め、即支援に活かすための検討を行っている。 エ: チーム会議後認知症初期発見支援センターに対して要請書等に周知して始まる。年一回初年度支援チーム検討委員会を開催、重点的の進捗と情報交換、検討の場としている。		
3	認知症サポートチーム等を活用した地域支援体制の構築及び社会参画支援が行われているか。 ※エは該当する場合はアからワまでのいずれかに該当していることが望ましい イ 認知症サポートチーム等による支援チーム等の活動グループ(チーム・ボランティア等)を推進している。 ウ 認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につながるよう、イによる活動グループを含む地域の担い手とのマッチングを行っている。 エ 認知症の人が所属に際して、事業、商品、施設の提供、販売、資金の調達、地域活動やマルシェの開催等に参画できるよう、支援している。	2023年度実績(予定を含む)の状況と評価	5点	ア アについては、取組内容の概要を記載。 イ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 ウ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 エ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 エ アについては、活動グループによる活動内容の概要を記載。 イ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 ウ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 エ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。	ア: 認知症カフェ、介護者のついで、通いの場、自宅訪問、あ・うんネット周知認知症ワーキンググループ委員を通じての本人の作成 イ: 岡南市民生後見制度利用支援事業(要請)中立ての対象者は、要支援者であり、かつ、配偶者若しくは四親等(二親等)内の親族がいない人またはこれらの親族がいても認知症の状況にある人で、市長が本人の同意のために中立てを行うことが必要と認められた人 ウ: ご本人の自宅やカフェ、花見、たけのこ祭り、見守りを実施 エ: ステップアップ講座受講者のうち協力意向のある者を登録、事例が出た際に、登録者の中で当該地区居住者などに呼びかけ検討会議を開催。今年度3ヶ所までステップアップ講座を開催予定。認知症カフェやついでなどの場		

(Ⅱ) 活動指針群(配点36点)

内容	取組	評価	得点	記録事項・提出資料	記録簿	提出資料	アカウンタブル
1	認知症人口増加の認知症サポートチーム 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 イ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 ウ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 エ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。	2023年度実績(予定を含む)の状況と評価	5点	ア アについては、取組内容の概要を記載。 イ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 ウ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 エ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。	ア: 認知症カフェ、介護者のついで、通いの場、自宅訪問、あ・うんネット周知認知症ワーキンググループ委員を通じての本人の作成 イ: 岡南市民生後見制度利用支援事業(要請)中立ての対象者は、要支援者であり、かつ、配偶者若しくは四親等(二親等)内の親族がいない人またはこれらの親族がいても認知症の状況にある人で、市長が本人の同意のために中立てを行うことが必要と認められた人 ウ: ご本人の自宅やカフェ、花見、たけのこ祭り、見守りを実施 エ: ステップアップ講座受講者のうち協力意向のある者を登録、事例が出た際に、登録者の中で当該地区居住者などに呼びかけ検討会議を開催。今年度3ヶ所までステップアップ講座を開催予定。認知症カフェやついでなどの場		
2	認知症人口増加の認知症サポートチーム 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 イ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 ウ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 エ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。	2023年度実績(予定を含む)の状況と評価	5点	ア アについては、取組内容の概要を記載。 イ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 ウ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 エ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。	ア: 認知症カフェ、介護者のついで、通いの場、自宅訪問、あ・うんネット周知認知症ワーキンググループ委員を通じての本人の作成 イ: 岡南市民生後見制度利用支援事業(要請)中立ての対象者は、要支援者であり、かつ、配偶者若しくは四親等(二親等)内の親族がいない人またはこれらの親族がいても認知症の状況にある人で、市長が本人の同意のために中立てを行うことが必要と認められた人 ウ: ご本人の自宅やカフェ、花見、たけのこ祭り、見守りを実施 エ: ステップアップ講座受講者のうち協力意向のある者を登録、事例が出た際に、登録者の中で当該地区居住者などに呼びかけ検討会議を開催。今年度3ヶ所までステップアップ講座を開催予定。認知症カフェやついでなどの場		
3	認知症人口増加の認知症サポートチーム 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 イ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 ウ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。 エ 認知症初期発見支援センター等と連携して、認知症初期発見支援チームの周知を行っている。	2023年度実績(予定を含む)の状況と評価	5点	ア アについては、取組内容の概要を記載。 イ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 ウ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。 エ については、活動グループによる活動内容の概要を記載。	ア: 認知症カフェ、介護者のついで、通いの場、自宅訪問、あ・うんネット周知認知症ワーキンググループ委員を通じての本人の作成 イ: 岡南市民生後見制度利用支援事業(要請)中立ての対象者は、要支援者であり、かつ、配偶者若しくは四親等(二親等)内の親族がいない人またはこれらの親族がいても認知症の状況にある人で、市長が本人の同意のために中立てを行うことが必要と認められた人 ウ: ご本人の自宅やカフェ、花見、たけのこ祭り、見守りを実施 エ: ステップアップ講座受講者のうち協力意向のある者を登録、事例が出た際に、登録者の中で当該地区居住者などに呼びかけ検討会議を開催。今年度3ヶ所までステップアップ講座を開催予定。認知症カフェやついでなどの場		

目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する(配点100点)

(1) 医師・看護師連携(配点68点)

No.	評価項目	評価	達成状況	取組内容	評価結果	達成状況	取組内容	評価結果	達成状況	取組内容	評価結果
1	<p>地域の医師・介護関係者が参画する会議において、市町村が持つべき役割を明確にし、役割分担を決定しているか。</p> <p>※ア～イのうち、ア及びイに該当していることが望ましい。</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>	<p>ア 今後のニーズを踏まえ、①日常の診療支援、②急病対応、③急病対応、④療養の4つの領域ごとに、在宅医療と介護の連携体制の目指すべき姿を決定している</p> <p>イ 在宅医療と介護の連携体制の目指すべき姿を介護保険事業計画に記載している</p> <p>ウ 地域の人口推移を踏まえ、今後のニーズや医療・介護資源、社会資源や利用者の情報を、在籍の意向等を把握し、地域連携の構築を進めている</p> <p>エ アとウの定量的な指標に基づき、具体的な課題を踏まえ、地域の特性を踏まえた目標の設定、具体的な対応策を立案している</p> <p>オ 評価指標等に基づき、事業の検証や必要に応じた見直しを行う仕組みを設けている</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>
2	<p>在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握しているか。</p> <p>※ア～イのうち、ア及びイに該当していることが望ましい。</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>
3	<p>患者・利用者の状況の変化等に応じて、医師・介護関係者間で連携の取組を行っているか。</p> <p>※ア～イのうち、ア及びイに該当していることが望ましい。</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>○ 5点 △ 3点 × 0点</p>	<p>ア 在宅医療・介護の連携の推進・強化・促進に向け、医師・介護関係者のニーズを把握している</p> <p>イ 医師・介護関係者のニーズを踏まえ、その結果を医師・介護関係者間で共有している</p> <p>ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている</p> <p>エ 課題分析や医師・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている</p>	<p>2023年度実績(予定を含む)の状況を評価</p>

(H) 活動指標群 (配点5点)
入居後支援の実施状況

1	ア 入居時情報集積加算定着数割合 イ 退院・退所加算定着数割合	2022年度実績 を評価				2021年度実績 を評価
		① 上位7割	② 上位5割	③ 上位3割	④ 上位1割	
2	ア 在宅ターミナルケアを受けた患者数 割合 (管内在宅死に患者数における割合)	2021年度実績 を評価				2021年度実績 を評価
	イ 在宅での集取り加算定着数割合 (管内在宅死に患者数における割合)	2021年度実績 を評価				

目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(配点100点)

成果指標群

項目	指標	測定方法	測定時期	評価	達成状況	達成率	備考	
1	<p>【総合指標1-2】(平均年齢)の平均年齢(変化率) 短寿命化率(平均年齢)の平均年齢(変化率)の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況</p> <p>イ 変化率の差</p>	<p>① 全県除きの上位7割</p> <p>② 全県除きの上位5割</p> <p>③ 全県除きの上位3割</p> <p>④ 全県除きの上位1割</p> <p>⑤ 全県除きの上位7割</p> <p>⑥ 全県除きの上位5割</p> <p>⑦ 全県除きの上位3割</p> <p>⑧ 全県除きの上位1割</p>	<p>(ア) 2022年1月～2023年1月の変化率</p> <p>(イ) 2022年1月～2023年1月と、2021年1月～2022年1月の変化率の差</p>	<p>2019年1月～2023年1月の変化率</p>				
2	<p>【総合指標1-2】(平均年齢)の平均年齢(変化率) 長寿命化率(平均年齢)の平均年齢(変化率)の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況</p> <p>イ 変化率の差</p> <p>ウ 変化率の差</p> <p>エ 全県除きの上位1割</p>	<p>① 全県除きの上位7割</p> <p>② 全県除きの上位5割</p> <p>③ 全県除きの上位3割</p> <p>④ 全県除きの上位1割</p> <p>⑤ 全県除きの上位7割</p> <p>⑥ 全県除きの上位5割</p> <p>⑦ 全県除きの上位3割</p> <p>⑧ 全県除きの上位1割</p>	<p>2019年1月～2023年1月の変化率</p>					
3	<p>【総合指標3-5】(平均年齢)の平均年齢(変化率) 短寿命化率(平均年齢)の平均年齢(変化率)の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況</p> <p>イ 変化率の差</p>	<p>① 全県除きの上位7割</p> <p>② 全県除きの上位5割</p> <p>③ 全県除きの上位3割</p> <p>④ 全県除きの上位1割</p> <p>⑤ 全県除きの上位7割</p> <p>⑥ 全県除きの上位5割</p> <p>⑦ 全県除きの上位3割</p> <p>⑧ 全県除きの上位1割</p>	<p>(ア) 2022年1月～2023年1月の変化率</p> <p>(イ) 2022年1月～2023年1月と、2021年1月～2022年1月の変化率の差</p>					
4	<p>【総合指標3-5】(平均年齢)の平均年齢(変化率) 長寿命化率(平均年齢)の平均年齢(変化率)の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況</p> <p>イ 変化率の差</p> <p>ウ 変化率の差</p> <p>エ 全県除きの上位1割</p>	<p>① 全県除きの上位7割</p> <p>② 全県除きの上位5割</p> <p>③ 全県除きの上位3割</p> <p>④ 全県除きの上位1割</p>	<p>2019年1月～2023年1月の変化率</p>					
5	<p>【総合指標3-5】(平均年齢)の平均年齢(変化率) 長寿命化率(平均年齢)の平均年齢(変化率)の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況</p> <p>イ 変化率の差</p>	<p>① 全県除きの上位7割</p> <p>② 全県除きの上位5割</p> <p>③ 全県除きの上位3割</p> <p>④ 全県除きの上位1割</p> <p>⑤ 全県除きの上位7割</p> <p>⑥ 全県除きの上位5割</p> <p>⑦ 全県除きの上位3割</p> <p>⑧ 全県除きの上位1割</p>	<p>(ア) 2022年1月～2023年1月の変化率</p> <p>(イ) 2022年1月～2023年1月と、2021年1月～2022年1月の変化率の差</p>					